

## 自己紹介 2026年4月1日現在



- <氏名> 松隈 章 <本籍地> 神奈川県横浜市保土ヶ谷区
- <育った所> 兵庫県尼崎市（～3才）→浦和市（～小3）→横浜市（～中1）  
→大分市（～高3）→札幌市（大学）  
→神戸市（就職）
- <生年月日> 1957年12月18日
- <自宅住所> 神戸市垂水区塩屋町 <現住所> 東京都江東区東陽（単身赴任中）⇒2026年3月31日終了
- <兄弟> 松隈 洋（神奈川大学教授・京都工芸繊維大学名誉教授・近代建築史）双子の兄

- ◎ 学歴 1973年3月 大分市立明野中学校 卒業（1期）  
1976年3月 大分県立大分上野丘高等学校 卒業（28期）  
1980年3月 北海道大学工学部建築工学科 卒業（31期） 越野武助教 角幸博助手・歴史研

- ◎ 職歴等 ◆1980年4月 株式会社 竹中工務店 入社  
入社1年間は大阪本店各所で同期80名と見習生活
- ◆2026年3月31日まで・本社（東京）設計本部・設計企画部・部長付・企画担当、  
経営企画室サステナビリティ推進部（兼務）
- ・2016年12月より一般社団法人 聴竹居倶楽部 代表理事を兼務
- ・2020年3月1日付で公益財団法人 竹中大工道具館 評議員に就任（2024年から二期目4年）
- ◆大阪本店設計部（1981年4月～2001年3月、2006年4月～2010年4月）24年間
- ◆本社（大阪）企画室（2001年4月～2004年3月）3年間
- ◆公益財団法人 ギャラリーA4 企画マネージャー  
（2005年9月～2019年3月末）13年7ヶ月間
- ◆本社（東京）地球環境室（2004年4月～2006年4月）2年間
- ◆本社（東京）設計本部設計企画部（2010年5月～2026年3月31日）16年間  
（2018年3月31日定年退職後、嘱託、特殊嘱託）
- ◆竹中工務店退社 2026年3月31日  
⇒関連会社 TAK エンジニアリング（大阪）入社 4月1日  
経営企画室サステナビリティ推進部で一般社団法人 聴竹居倶楽部 理事他の業務を継続

- ◎ 社外活動 ①2012年～一般社団法人 住宅遺産トラスト 監事  
②2013年～八木邸倶楽部 代表  
③2013年～後山山荘倶楽部 共同代表  
④2020年～ 塩屋まちづくり推進会 幹事

- ◎ 社外委員 1985年～2000年 日本建築協会事業委員会委員  
2003年～2006年 日本建築協会+阪急電鉄共同企画委員  
2004年～2008年 CASBEE まちづくり検討小委員会委員  
2007年～2010年 日本建築学会都市環境評価小委員会委員  
2008年～2020年 CASBEE まちづくり評価認証部会委員  
2008年 第53回大阪建築コンクール審査委員  
2008年～ 日本建築学会近畿支部「総覧・日本の建築(大阪・兵庫)」編集委員  
2010年～ 日本建築美術工芸協会 (aaca) 事業委員会委員 (建物視察会)

- ◎ 参加・所属団体（個人として） ◆日本建築協会、◆日本建築学会、◆文化資源学会

◎ 主な建築作品、プロジェクト

- ・全日本海員組合本部会館（プロポーザル参加、歴史調査委員会委員 2024年）
- ・NAOTO FUKASAWA ATELIER（桜新町F邸）（コーディネート 2021年）
- ・ジェームス邸保存再生プロジェクト（全体コーディネート 2012年）
- ・梅田DTタワー（基本計画・基本設計 2003年）
- ・瀧定大阪株式会社高槻寮（1999年）
- ・安川ビル（1997年）
- ・海遊館（天保山ハーバービレッジ）（1990年）
- ・播磨屋本店円山店（1987年コンペ時）
- ・UCCコーヒー博物館（1987年）

◎ 主な受賞(個人)

- ① 「聴竹居」の一連の活動に対して 2018年 日本建築学会賞・業績賞
- ② 「聴竹居」の一連の活動に対して 2018年 日本イコモス賞

◎ 主な受賞(組織)

- ① ジェームス邸保存再生プロジェクトで日本建築美術工芸協会 aaca 賞、BELCA 賞、建築学会作品選集
- ② “建築・愉しむ”ギャラリー・エークウッドの運営 メセナアワード 2014 “メセナ大賞
- ③ 木造モダニズム建築「聴竹居」による社会貢献と建築文化発信でメセナアワード 2018 “メセナ大賞”
- ④ 一般社団法人 住宅遺産トラスト；「住宅遺産」の保存と継承に関わる一連の社会活動に対して  
2022年 日本建築学会賞・業績賞
- ⑤ 公益財団法人 ギャラリー・エークウッド 18年間の建築文化発信活動に対して  
2024年 日本建築学会賞・業績賞
- ⑥ 重要文化財 建造物「聴竹居」本屋・閑室・茶室（下閑室）の保存と公開を通じて伝統と未来を再考し、  
和文化的醸成と発信に貢献する活動 竹中工務店・聴竹居倶楽部連名での受賞  
日本和文化振興プロジェクト「第4回和文化グランプリ」準グランプリ

◎ 著書、寄稿等 ★印は竹中工務店関連の出版物

- ・エクスナレッジ 小泉和子（編・著）『住まいの昭和図鑑－昭和レトロ住宅のゆたかな暮らし－』（寄稿）  
2025年7月30日発行
- ・建築資料研究所 小林 浩志著（写真・文）、松隈章（監修）  
『聴竹居本屋・閑室・茶室 100年目の全貌』2025年6月12日発行
- ・新建築社『新建築住宅特集』2024年11月号 「建築家の照明 藤井厚二」（寄稿）
- ・建築設備総合協会『「BE建築設備」2024年5月号特集（寄稿）  
「“日本の住宅”を世界レベルにするために建築設備研究を創始し、第5回自邸「聴竹居」で  
実現し世界に発信した建築家・藤井厚二」
- ・平凡社 別冊太陽スペシャル『小さな平屋に住む』特集  
「藤井厚二が到達した理想の“日本の住宅”は木造平屋でした」2024年7月（企画編集協力）
- ・建築思潮研究所『住宅建築』2024年6月号・4月発売（編集協力・寄稿）
- ・新建築社『新建築』「聴竹居」2023年7月号（編集協力・寄稿）
- ・平凡社 別冊『太陽スペシャル』「木造モダニズムの国、日本」2023年4月（寄稿・写真提供）
- ・『建築ジャーナル』特集「聴竹居」2022年12月号（企画協力・編集・鼎談・インタビュー）
- ・平凡社 別冊「太陽」特集「語り継ぎたい ニッポンの名作住宅 100年」2021年7月号 巻頭文寄稿、  
「八木邸」取材対応
- ・京都大学学術出版会『京都大学建築学 100年の歩み』「建築環境工学を創設した藤井厚二」寄稿 2021年
- ・『藤井厚二 建築著作集』ゆまに書房 全10巻+補巻2巻 復刻版 藤井厚二研究会編 2020~22年  
（企画・編集・執筆）★
- ・日本建築美術工芸協会（aaca）機関誌へ「藤井厚二・聴竹居」連載寄稿（4回）2020年-21年
- ・『docomomo Journal』 2021年4月  
“木造モダニズムの国-日本”を代表する建築 重要文化財「聴竹居」1928（寄稿）

- ・『竹中工務店のホスピタリティデザイン』建築画報社 2021年2月(企画・編集)★
- ・神戸市立博物館 特別展「建築と社会の年代記-竹中工務店400年の歩み」図録2020年1月(編集・執筆)★
- ・京都文化博物館・目黒区美術館「太田喜二郎と藤井厚二」展 図録2019年4月(企画・編集・執筆)
- ・『人と自然をつなぐ建築・都市 竹中工務店の環境建築』建築技術 2018年7月(企画・編集)★
- ・『聴竹居 日本人の理想の住まい』平凡社 2018年5月(単著)
- ・『木造モダニズム建築の傑作 聴竹居 発見と再生の22年』ぴあ 2018年3月(単著)
- ・『竹中工務店 住まいの空間』建築画報社 2016年5月発行(企画・編集・寄稿)★
- ・世田谷美術館「竹中工務店400年の夢-時をきざむ建築の文化史」展 図録2016年4月(編集・執筆)★
- ・『竹中工務店 建築写真集』ゆまに書房 全5巻 復刻版 2015年8月発行(企画・編集・解題・解説)★
- ・『聴竹居 藤井厚二の木造モダニズム建築』松隈章/古川泰造 平凡社コロナブックス2015年3月発行(単著)
- ・『関西のモダニズム建築』石田潤一郎監修 淡交社2014年6月(共著)
- ・『16人の建築家-竹中工務店設計部の源流』石田潤一郎+歴史調査WG 井上書院2010年12月25日(共著)★
- ・『日本の住宅 藤井厚二』(復刻版)解説 柏書房 住宅建築文献集成〈第3巻〉2009年12月
- ・『サステナブル・アーキテクチャー竹中工務店東京本店新社屋』臨時増刊 新建築社2005年5月(共著)★
- ・『文化遺産としてのモダニズム建築 docomomo100 選展』図録汐留ミュージアム新建築社2005年4月(共著)
- ・『聴竹居が現代に問いかけるもの』ふくやま美術館「日本を意匠した近代建築家たち」展 図録 2004年(寄稿)
- ・『伊東忠太を知っていますか』王国社 2003年(寄稿)
- ・『関西のモダニズム建築 20選』淡交社 2001年9月(共著)
- ・『環境と共生する住宅 聴竹居実測図集』彰国社 初版2001年3月,増補版2018年7月(編集・執筆・共著)★

◎ 最近の講演会・講義等 2024年~2026年3月

- ・第6回 KENDAN・藤井厚二(前田圭介+松隈章+門脇耕三)2024年2月16日
- ・名古屋西口ロータリークラブ・卓話 風岡慶彦常務からの依頼 2024年4月11日
- ・「理想のすまいと建築フェア2024」@インテックス大阪での「聴竹居」講演会  
日本建築協会・指田会長より依頼 2024年5月30日
- ・竹中工務店北海道支店講演会 西居支店長からの依頼 2024年10月18日
- ・大和大学理工学部建築学専攻「聴竹居」講演会 包先生からの依頼 2025年1月16日
- ・福山市の即身会春期研修会 2025年2月4日
- ・空気調和・衛生工学会九州支部 講演会(神奈川大学・内田青蔵先生と共に)  
佐賀大学・中大窪千晶先生からの依頼 2025年2月21日
- ・住友林業住宅事業本部企業ゼミ@聴竹居 2025年2月21日
- ・国立新美術館「リビング・モダニティ住まいの実験 1920s-1970s」展  
国際シンポジウム「リビング・モダニティ—過去・現在・未来」2025年3月20日
- ・早稲田大学芸術学校・講義 萩原剛教授からの依頼 2025年6月12日
- ・多治見市モザイクタイルミュージアム 特別展示開催記念対談「松隈章×藤森照信」2025年10月4日
- ・ひろしま国際建築祭 トークセッション「後山山荘とその次へ—藤井厚二に始まる福山たてものがたり」  
2025年10月18日
- ・兵庫県立美術館「リビング・モダニティ住まいの実験 1920s-1970s」展  
HART TALK 館長といっしょ! Vol.19  
藤井厚二の眼差し—もうひとつのモダニズム—「聴竹居」2025年10月25日
- ・日本建築学会九州支部鹿児島支所及び鹿児島大学講演会 細海准教授からの依頼 2025年11月22日
- ・明石工業高等専門学校建築学科3年+4年・講演会 2026年1月21日
- ・近畿建築士会協議会女性部会「聴竹居」講義(視察後)2026年1月24日
- ・世田谷美術館開館40周年記念イベント・トーク登壇 2026年3月1日

- ◎ **公益財団法人ギャラリーA4（竹中工務店東京本店 1 階）；企画マネージャー（2019 年 3 月末まで兼務）**
  - ・ 設立準備メンバーに参加 2004 年 7 月 28 日キックオフ
  - ・ ギャラリー基本コンセプト立案、ロゴマーク決定に参画、アドバイザー招聘（木下直之氏）
  - ・ 2004 年 12 月プレオープン、2005 年 9 月正式オープン
  - ・ 2012 年 1 月一般財団化、**理事招聘（鈴木博之氏）** 2013 年 3 月公益財団化完了  
**理事招聘（内藤廣氏） 2014 年**
  - ・ 2014 年度 企業メセナ協議会 メセナアワード 2014 “メセナ大賞”受賞
  - ・ **主担当展覧会 主に「建築展」と「100 人の撮影会」**
    - ・ 美の壺 放送 10 周年記念「美の壺」和モダン・暮らしと憧れ展 2016 年 5 月
    - ・ 同潤会の 16 の試み ―近代日本の新しい住まいへの模索― 2015 年 3 月
    - ・ 三里塚教会物語と吉村順三展 2013 年 11 月、2014 年春関西巡回
    - ・ BEYOND 3.11 南三陸 2012 年 10 月撮影、2013 年 2 月展覧会
    - ・ 西本願寺「伝道院」と伊東忠太展 2012 年 3 月、同年 6 月関西巡回展
    - ・ 100 人の深川展 2011 年 11 月撮影会、2012 年 1 月展覧会
    - ・ 八幡浜市立日土小学校と松村正恒展 2011 年 3 月、2011 年 12 月関西巡回展、2012 年 6 月愛媛巡回展
    - ・ 100 人の上野展 2010 年 7 月撮影会、10 月展覧会
    - ・ 「札幌聖ミカエル教会」とアントニン・レーモンド展 2010 年 4 月
    - ・ ギャラリーA4 5 年間の活動を振り返って 2010 年 3 月
    - ・ 「聴竹居」と藤井厚二展 **2009 年 11 月、2010 年 3 月関西巡回展**
    - ・ 100 人の築地展 2009 年 5 月、100 人の東京タワー展 2008 年 9 月
    - ・ 増田彰久写真展 2008 年 6 月
    - ・ 木造モダニズム展－飯箸邸と前川邸 2008 年 4 月
    - ・ 吉村行雄写真展 2008 年 1 月、100 人の浅草モダン展 2007 年 10 月
    - ・ 延藤安弘コレクション 世界の住まいとまち絵本展 2007 年 3 月
    - ・ 安田泰幸スケッチ展 2007 年 1 月、100 人の東京駅展 2006 年 10 月
    - ・ 明治生命館の軌跡展 2006 年 4 月
    - ・ 北田英治写真展 コルビジエのインド 2006 年 3 月
    - ・ モダニズム 16 人展 2005 年 4 月
- ◎ **主な展覧会等の企画、実行委員 ★印は竹中工務店関連の展覧会**
  - ・ 多治見モザイクタイルミュージアム「山内逸三と藤井厚二－聴竹居で育まれたものたち－」展  
展示企画・実施協力 2025 年
  - ・ ひろしま国際建築祭 ふくやま美術館ギャラリー「後山山荘（旧・諒然荘(あいぜんそう)) の 100 年とその次へ | 福山が生んだ建築家・藤井厚二」展 展示企画・実施協力 2025 年
  - ・ 大阪関西万国博覧会 河瀬直美プロデュース「Dialogue Theater－いのちのあかし－」館での竹中工務店ウィークリー展示 展示企画・実施総括 2025 年 7 月-8 月・9 日間★
  - ・ 国立新美術館及び兵庫県立美術館「リビング・モダニティ住まいの実験 1920-1970」展  
展示企画・実施協力 2025 年
  - ・ 京都市京セラ美術館「モダン建築の京都」展「聴竹居」展示・図録及びイベント企画・実施協力 2021 年
  - ・ 神戸市立博物館 特別展「建築と社会の年代記-竹中工務店 400 年の歩み」展示企画・実施 2020 年★
  - ・ 京都文化博物館・目黒区美術館「太田喜二郎と藤井厚二」展 展示企画・実施 2019 年
  - ・ 竹中大工道具館「聴竹居 藤井厚二の木造モダニズム建築」展 展示企画協力 2018 年★
  - ・ 森美術館「建築の日本」展 「聴竹居」「後山山荘」展示協力 2017 年
  - ・ 世田谷美術館「竹中工務店 400 年の夢-時をきざむ建築の文化史」展 展示企画・実施 2016 年★
  - ・ ワタリウム美術館「磯崎新 12×5=60」展 「鳥小屋」原寸模型展示協力 2014 年
  - ・ あいちトリエンナーレ関連「名古屋百人百景」展、「岡崎百人百景」展協力 2013 年
  - ・ 「昭和の名作住宅に暮らす展」2012 年
  - ・ 「京都・岡崎百人百景」撮影会展覧会 2012 年

- ・「大山崎百人百景」撮影会・展覧会 2011年、2012年
- ・「塩屋百人百景」展覧会(2月22日～3月9日)開催.木下直之講演会「わたしの塩屋」開催(2月24日).「塩屋」まちのブランド発信. 2007年,2008年
- ・滋賀県立近代美術館『ウィリアム・メレル・ヴォーリス展』軽井沢浮田山荘原寸模型展示監修 2008年
- ・『文化遺産としてのモダニズム建築－docomomo100選』関西展  
大阪市立住まいのミュージアム 実行委員会委員 2005～2006年
- ・『文化遺産としてのモダニズム建築－docomomo100選』東京展  
松下電工汐留ミュージアム 実行委員会ワーキンググループメンバー2004～2005年
- ・ふくやま美術館「武田五一・田辺淳吉・藤井厚二」展覧会 顧問 2002～2004年
- ・ワタリウム美術館「伊東忠太展」展示協力 2003年
- ・モダニズム建築関西展実行委員会委員 神戸&芦屋両展実行委員 2001年
- ・三重県立美術館「1920年代の造形美術展」 藤井厚二「聴竹居」展示協力 1996年

◎ その他

- ・テレビ東京 (BS テレビ東京)「新 美の巨人たち」「聴竹居」出演 内田有紀、松隈章 (案内・解説)  
2025年11月29日放送 (12月6日放送)
- ・KBS 京都・BS11・東京MXテレビ「京都画報」#33 出演 常盤貴子、中川理、松隈章 (案内・解説)  
2024年6月放送
- ・講談社「FRaU」2023年1月号 SDGs 特集 野村友里「あかりの灯る場所」  
「聴竹居」インタビュー・撮影対応
- ・eo 光ケーブルテレビ「ビタペディア」「聴竹居」出演・案内解説 2022年6月10日取材・撮影、  
7月13日放送
- ・テレビ BS 日テレ「ぶらぶら美術博物館」 「聴竹居」出演・案内解説 2018年3月16日放送
- ・テレビ東京「美の巨人たち」 藤井厚二「聴竹居」出演・解説 2017年8月19日放送
- ・天皇皇后両陛下「聴竹居」行幸啓 先導役・ご案内 2013年6月24日
- ・第14回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展「日本館コミショナー」指名コンペ (6名)  
2013年5月プレゼ、落選
- ・「土浦邸フレンズ」常任委員 (発起人) 2013年～2019年
- ・「明治丸シンポジウム」実行委員会委員 (江東区) 2011年～
- ・テレビ 毎日放送「美の京都遺産」 「聴竹居」出演・解説 2010年3月放送
- ・テレビ NHK「美の壺」昭和レトロの住宅 「聴竹居」出演・解説 2010年3月放送
- ・「聴竹居倶楽部」代表 (京都府大山崎町) 2008年6月～2016年12月
- ・「旧グッケンハイム邸」(垂水区塩屋町) 保存活用アドバイス 2006年～
- ・「聴竹居」保存活用アドバイス (契約、取材、見学他) 1996年～2016年
- ・藤井厚二「聴竹居」実測調査参画 (リーダー) 2000年
- ・武田五一「芝川邸」実測調査参画 1995年、  
「芝川邸と武田五一」展・企画・図録、展示 1996年

以上